電算処理システムのデモンストレーションを実施

阿蘇中部４町村合併推進協議会新電算システム構築委託業者選定委員会（委員長高橋一史総務部会長）では、六月十六日～十八日までの三日間、阿蘇町農村環境改善センターにおいて阿蘇中部４町村の電算処理システム統合に向けた電算導入の業者選定のため、日頃、電算業務に携わる４町村の原課職員及び選定委員会委員百五十九名（延べ人数）が参加し、電算業者３社によるデモンストレーション（実演会）を実施しました。

各町村から参加した住基、税、財務、介護保険等の担当職員には、それぞれのシステムについて各社から詳しい説明を受けていただき、使いやすさや操作性、他の業務との連動性、特にプライバシー保護などの機密保護対策に配慮されたシステムであるかなど、十五項目からなるデモ検証評価表に基づき評価の優位順や意見等を記入していただきました。

今後システムの導入については、業者選定委員会において、デモンストレーションの評価等も含め、選定資料や意見の集約を行い、住民サービスの低下を招かないよう電算処理システムの構築をめざして進めていきます。

電算各社
㈱ＲＫＫコンピューターサービス、熊本県町村会、㈱日立情報システムズ

次回協議会の開催日

第十三回合併推進協議会は、七月八日（火）午後一時三十分から、波野村公民館で行います。

※協議会の開催日及び開催時間は毎月第二火曜日午後一時三十分開催を原則としていますが、変更するときもありますので、事務局にお問い合わせください。

なお七月以降の協議会開催予定は基本的には次のような計画を持っておりますが、会場等については、今後の協議会だより、または町村役場、合併事務局等にご確認ください。

合併推進協議会事務局
☎35・4011

回数	開催予定日	場所
第13回	15年7月8日	波野村
第14回	15年8月	一の宮町
第15回	15年9月	阿蘇町
第16回	15年10月	産山村
第17回	15年11月	波野村
第18回	15年12月	一の宮町
第19回	16年1月	阿蘇町

編集後記

六月九日より入梅となり、毎日雨天日が続いている今日この頃です。今年は、白川が大氾濫し熊本市始め、県下に大災害をもたらした昭和二十八年（一九五三年）六月二十八日から五十年目にあたります。このときの被災者総数三十九万人、死者行方不明者五百六十三人という未曾有の大災害となり六・二六は忘れられない日となりました。

丁度、昭和二十八年十月町村合併促進法が制定されて、全国的に市町村の合併が推進され、一の宮町は一町三村が、阿蘇町は一町四村がそれぞれ合意して、翌昭和二十九年四月一日より、現在の町制発足をしております。

来年は二町とも町制施行五十周年にあたる年でありますが、今、平成の大合併として合併問題に直面しています。

複数の自治体が一つになるには、たくさんの調整が必要です。民意を反映しての合併、とよく言われますが、理解をいただいての合併が適切な言葉かもしれません。理解をいただくためには、出来るだけ情報を提供していきたいと思っております。今年の梅雨が、大雨にならないことを願いながら合併事務推進に邁進していきます。